

# 2008年8月10日 浅間山で発生した微噴火に伴う 地震速度波形と火口カメラの映像

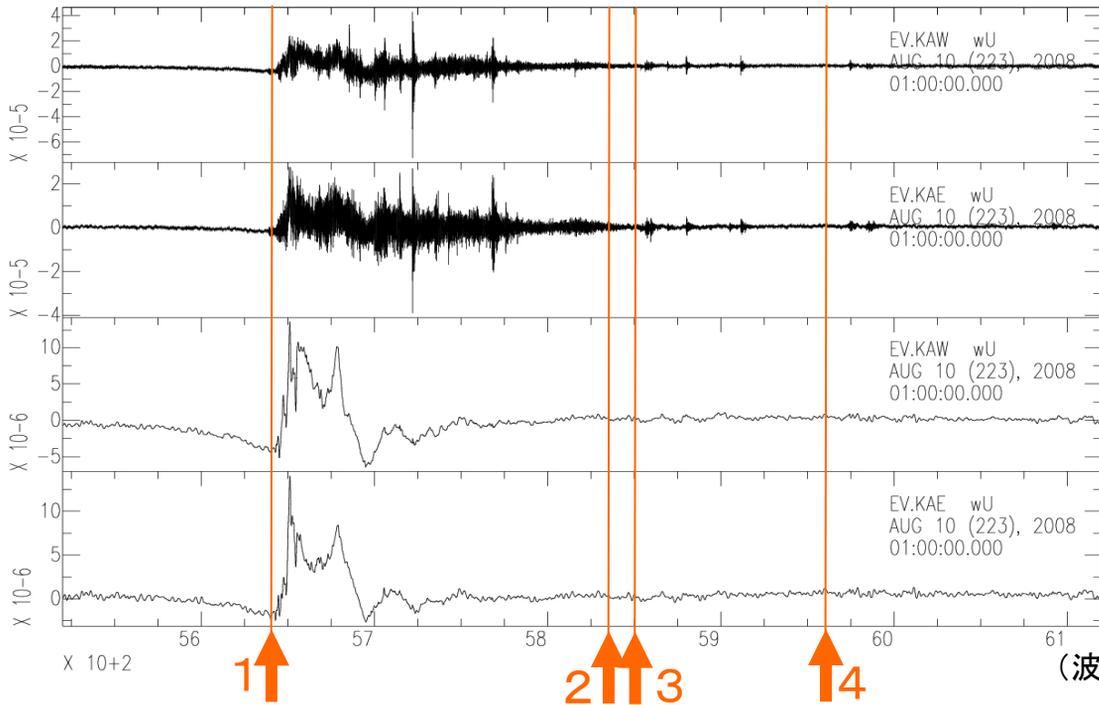


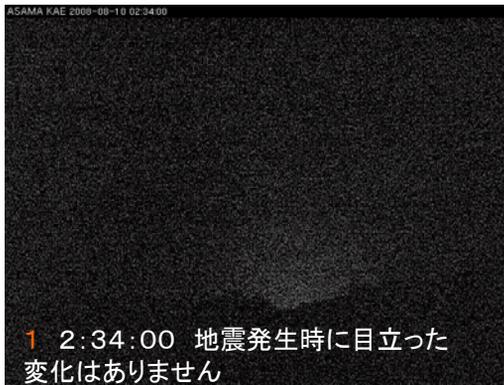
図1 火口西観測点における広帯域地震速度波形上下動成分

図2 火口東観測点における広帯域地震速度波形上下動成分

図3 図1に1Hzローパスフィルターを掛けたもの。地震発生前のゆるやかな下向きの変化は地震計の帯域が限られているためであり、実際の動きではありません。

図4 図2に1Hzローパスフィルターを掛けたもの

(波形処理 前田裕太)



微噴火発生3分ほど前に火口直下の膨張を示唆する特異な地震が起こります。50秒ほどかけたゆっくりした膨張です。地震が終わりしばらくすると火口底が急激に明るくなり、その後明るい状態がしばらく続きます。これが観測された火映に対応すると考えられます。